



保育所だより

令和6年10月31日

桑折町醸芳保育所

1年前の今頃を振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症が感染法上の分類で2類から5類に変わって6ヶ月が経過したためか、コロナ感染が再拡大して学校では学級閉鎖や学年閉鎖が行われたり、地域ではお祭り等が中止になったりしていました。現在は、新型コロナウイルスは現存するものの弱毒化しているためか、あまり騒がれない状況にあります。しかし、手足口病やマイコプラズマ肺炎等、別の感染症が異常に広がっているようです。本所においても手足口病は、7月に30名以上の罹患者が出て、その後減少していましたが、10月に入り再び罹患者が増加しました。今後寒くなると、更に様々な感染症が流行してくることが考えられますので、保護者の皆様には今後もお子様の体調管理へのご協力、よろしくお願いいたします。

さて、寒さとともに保育所では所庭の木々も色づいて、日に日に秋の深まりを感じるようになりました。子どもたちは、どんぐりを拾いに散歩に出かけるなど、秋ならではの遊びを楽しんでいます。また、一昨日(29日)は遊戯室で「ハロウィンパーティー」を行いました。おばけ釣りやお面コーナー、おばけルームやおばけ的当て、顔はめパネルや変身コーナーで楽しみました。子どもたちの活動の様子は、昨日アップのホームページでご紹介しましたので是非ご覧下さい。

<今月の保育の目標>

0歳児

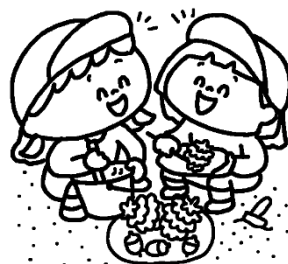
- 気候に応じた戸外遊びや散歩を取り入れ、身近な自然を感じられるようにする。

1歳児

- 遊びを通して、友達や保育者と簡単なやりとりを楽しむ。
- 自分の好きな絵本を見たり、保育者に絵本を読んでもらったりすることを楽しむ。
- 身の回りのことに興味を持ち保育者と一緒に少しずつやってみようとする。

2歳児

- どんぐりや落ち葉などに関心を持ち、秋の自然物を使った遊びを楽しむ。
- トイレに興味を持ち、保育者と一緒に行こうとする。
- 簡単な言葉のやりとりをしながら、友達とかかわって遊ぶことを楽しむ。



<11月の行事予定>

1日(金) 家庭教育学級・降所保育参観

6日(水) 避難訓練(消防車が来ます)

7日(木) 幼稚園合同交通教室(2歳児)

13日(水) 歯科検診 9:00

28日(木) 誕生会

筆記用具をご持参ください

*後日、歯科健診の保健調査票を配布します。

11日(月)までに提出してください。

<12月の主な予定>

6日 エプロンさんのお話会

19日 誕生会

23日 クリスマス会

24日 避難訓練

28日 保育納め



< 保育所からのお知らせ・お願い >

【内科検診・尿検査結果】

○内科検診・・・医師の所見があったお子さんについては、個別にお知らせしました。

○尿検査・・・陽性だったお子さんについては、個別にお知らせしました。

それ以外のお子さんは、異常なしでした。

～お忙しいところご協力ありがとうございました～

【来年度の入園申込について】

11月8日に来年度の入園申込書を配布します。申込期間は、11月18～30日です。

○たまご・ちゅうりっぷ・すみれ・ゆり組 ➤ 来年度開園予定の幼保連携型認定こども園の入園申込書を配布します。希望する方は、申込書を醸芳保育所へ提出してください。

○さくら・ひまわり組 ➤ 来年度開園予定の幼保連携型認定こども園と醸芳幼稚園の2施設の入園申込書を配布します。希望する1施設へ申込書を提出してください。認定こども園希望の方は醸芳保育所へ、醸芳幼稚園希望の方は、醸芳幼稚園へ提出してください。

【ジャンパーのタグについて】

ジャンパーには、襟元（タグのあたり）に紐をつけてください。特に1歳児以上のクラスでは、自分で廊下のフックに掛けます。こどもが掛けられる紐の長さにしてください。

< クラスよい >

たまご組



10月の天気の良い日にはできるだけ戸外に出て太陽の陽をたくさん浴びるようにしました。太陽の陽をたくさん浴びるとセロトニンというホルモンが分泌され身体を丈夫にしてくれたり、上質な睡眠を促してくれたりします。11月もできるだけ戸外へ出て遊べるようにしていきたいと思います。太陽の陽を浴びる時間は長時間でなくても日陰でも大丈夫という事なので、テラスにござを敷いて遊ぶようにもしています。



【↑通路で歩く練習中】

ちゅうりっぷ組

たまご組さんから進級してきたお友達も少しずつ慣れて、過ごせるようになってきました。天気の良い日には戸外に出てたくさん遊びました。滑り台の階段も怖がらずに

登っていき、頼もしい姿にドキドキしながらも成長を感じ、楽しんでくれることをうれしく思っています。

散歩に行き、自分で歩くことや手をつないで歩くことも練習しています。遊戯室や室内でも身体を動かして遊ぶ時間を大切にしてきました。11月もできるだけ戸外活動を多くしていき、秋の自然を感じていきたいと思います。



【↓新幹線が見える丘で】



すみれ組

10月にクラス進級がありメンバーが変わりましたが、元気いっぱいパワフルなすみれ組です♪だんだん涼しく過ごしやすい気温になってきて、戸外でたくさん活動ができるようになり、活発に走り回ったり築山を登ったりしています。



【どんぐりみつけ】

陣屋の杜にお散歩に行きどんぐりをたくさん拾って保育所に持ち帰り、ままごと遊びや制作で使用し秋の自然に触れ楽しむことができました。制作ではどんぐりを使って絵の具の転がし絵をして綺麗な模様を描きました。

気温差が激しい日が続きますが体調管理に気を付けながら楽しく過ごしていきたいと思っています。



ゆい組

やっと戸外に出て遊ぶことが出来るようになり、ふと気が付くと自分で靴を履いて戸外に出ようとするお友達やズックのマジックテープを“ビリビリビリ〜”と剥がして足を入れようと頑張るお友達が増えていました。「うわぁ〜！一人で履けたの!!」「ビリビリ（マジックテープ）取れたの〜？」と声を掛けると嬉しそうな表情を見せるゆい組さん達です。

11月も天気の良い日は、たくさん戸外遊びやお散歩に出掛けたいと思っています。登所時に長靴やサンダルを履いて登所する方は、ズックも持参して頂けると幸いです。よろしくお願いします。



【電車を見にお散歩へ。通過する電車に手を振るこどもたち】

ひまわり組



すっかり秋になり、お散歩の季節になってきました。しっかりと手を繋いで歩くことや、横断歩道は手を挙げて渡ることなど、その都度安全な歩き方を教えているところです。陣屋の杜では、探検隊になって、傾斜を上り下りしたり、でこぼこ道を歩いたりして、普段はできないよい経験ができました。少しずつ、葉っぱや木の実などの秋の自然にも触れていきたいと思えます。また、おばけが大好きな子ども達は、お面やマントなどを作って、なりきって遊ぶことを楽しんでいます。ハロウィンのダンス『グーチョコキパーでパンプキン』も喜んで踊っています。参観日におうちの人に見せることを楽しみにしています。



【森の中を皆で探検、何か見つけたよ】

さくら組



戸外遊び後のがらがらうがいを始めました。手洗いの後にお茶を口に含み、上を向いてガラガラとうがいをしてペッと出す練習をしています。ブクブクうがいの方が馴染みがあるようで、「上を向いてね」と声をかけてもついつい“ブクブク〜”としてしまう子もいます。これからだんだん寒くなり感染症の流行しやすい時期なので、ガラガラうがいを身に着け健康

に過ごせるようにしていきたいと思います。ご家庭でもぜひやってみてくださいね。10月はハロウィン！保育所の中にオバケがたくさん飾られ、子ども達もとっても楽しそうにしています。時々みんなでオバケに変身して、いろいろなクラスや所長先生のところに行き「わっ！！」「おばけだぞ〜！」と驚かせに行っていました。「みんなで驚かせに行こう！」と声をかけるとすぐに集まってくる子ども達！“みんなで一緒に遊ぶこと”の楽しさを少しずつ感じているようです。



【 おばけだぞ〜！ 】

家庭生活ポイント 「生活リズム」「あいさつ」「読書」・・・より

グローバル社会で生き抜くために伸ばしたい、“5つの力”③

3 多様性を楽しめる心

これからは海外へ行くだけでなく、日本国内でも益々グローバル化が進み、多様性＝違いが溢れる世界になっていきます。そんな世界で活躍するためには“違い”に出会った時にどんな価値観、対応（反応）をするかという「心」のありようが大事になってきます。違いに出会ったときに「怖い、排除しよう」ではグローバル社会に適応することは難しいからです。6歳までは心を育てる大事な時期。だからこそこの時期に違いを楽しめる心＝“みんなちがって、みんないい”を当たり前にする心土台を築いていくことが大切です。日常の中に“違い”を取り入れ、違いに触れる機会をたくさんつくり、親が率先して違いを肯定的に捉え、楽しんでください。違いを楽しめるようになると、お互いの良いところを掛け合わせて新たな発想をしていくことができるようになります。この発想こそが、グローバル社会で生き抜く力に繋がります。

4 自己表現力

多様な文化的背景を持つ人々と共に過ごし、働くグローバル社会では自分のことを知り、それを表現できること、つまり自己表現力があることも大切です。グローバル社会ではその人の持つ文化や歴史的背景について表現する場があったりするもの。だからこそ、自分の好き嫌いなどと合わせて母文化（ここでは日本文化）のことについても知ることが大切です。子どもの表現力を伸ばすには言動に対して“子どもの想いを聞く”ことも大切です。どうしてそう思うの？なぜ、これが好きなの？一番頑張ったところは？など、折に触れて尋ねてみてください。子どもの想いを聞くことは、親が子どもを理解できると同時に、子どもが自分の気持ちや考えを表現する練習にもなります。“親が自分の想いをしっかり聞いてくれた”という経験を繰り返していくことで、将来的に自分の想いや考えを恐れることなく表現できることにも繋がります。

次号につづく➤